

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-1

1. 事業概要

事業名	コンベンションの誘致・支援業務(実施事業会計)				
目的及び内容	コンベンションの県内への誘致及びコンベンション開催に対する支援 (事業費のうち、補助金のほぼ全額は、そのままコンベンション主催者に交付する補助金である。)				
目標(値)	コンベンション主催者への年間1,000件のアプローチ				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	目標値	1,000	1,000	1,000件	1,000件
	実績値	1,082	647	781	

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度(計画)
コスト		110,823,711	29,280,047	42,872,520	97,021,000
事業費		75,082,708	5,830,492	14,164,602	68,398,000
	補助金・負担金	71,450,336	5,830,492	14,036,252	65,211,000
	うち県分	43,746,834	900,000	5,330,000	40,000,000
	受託料等	1,896,637	0	128,350	1,349,000
	うち県分				
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入				
	使用料・入場料等				
	借入金				
	その他(上記以外)	1,735,735	0	0	1,838,000
人件費		35,741,003	23,449,555	28,707,918	28,623,000
	職員別内訳				
	役員、評議員	2,546,462	2,338,212	2,489,508	2,648,000
	正規職員、その他職員	33,194,541	21,111,343	26,218,410	25,975,000

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	当財団の2021年度のコンベンション事業については、一昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのコンベンションが中止・延期、またはオンラインでに開催に移行を余儀なくされた。開催件数については22件。累計参加者数は、10,107人とどまった。また、感染症対策による県外への移動規制などにより、主催者への訪問活動についても制約を受け、訪問件数は目標の1,000件に届かなかった。ただ2021年度は前年度と異なり、開催件数22件のうち半数は「ハイブリッド形式」で現地開催され、あらたなコンベンションのスタイルとして、今後も開催が見込まれる。また2022年春以降感染症が徐々に沈静化していく中で、コンベンションの開催も、徐々に復調に向かいつつある。	